

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月10日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902041		
法人名	株式会社 ケアクオリティ北海道		
事業所名	グループホーム ななかまど		
所在地	北海道旭川市緑町19丁目2656番地1 (電話) 0166-51-0717		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年11月10日	評価確定日	平成19年11月14日

【情報提供票より】(平成19年10月16日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年3月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤	15人, 非常勤 3人, 常勤換算 12人

(2) 建物概要

建物構造	準耐火	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 円	その他の経費(月額)	25,000~30,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	460 円	おやつ	円
	または1日当たり 1,060 円			

(4) 利用者の概要(10月16日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	4名	要介護2	4名		
要介護3	4名	要介護4	5名		
要介護5	1名	要支援2			
年齢	平均 83.33歳	最低	71歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	村井内科消化器科クリニック 太田歯科医院 にしきまち通りクリニック 真口内科小児科医院
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員の離職は少なく、管理者・職員の間関係は良好で利用者と家族のように接して信頼関係が築かれている様子が笑顔の会話の中に見て取れました。また、利用者は食前の手洗いや食後の歯磨きなど自然に身に付き実践され口腔ケアの支援がなされています。地域住民の通院送迎のボランティアや実習生の受け入れ、町内会との緊急連絡網の構築、AEDを導入後地域に貸し出す計画など地元の人々との交流や認知症に対する理解や広報の活動にも良く取り組まれています。広がりには、読書や裁縫などの趣味や一人になったり利用者同士ゆっくり談笑などできるスペースが用意されている。職員は、具体的なそれぞれの目標を掲げ自己研鑽している姿が印象的でした。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では、栄養バランスや摂取カロリーについての再考があげられていましたが、保健所の管理栄養士に具体的内容の相談やアドバイスを受けて取り組み市との連携も深められています。また、地域住民も交えた研修会などの開催も計画され地域貢献も検討されています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価に取り組む中で、栄養バランスや生活環境の改善など具体的に捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については運営推進会議に報告され、そこでの意見や要望についても改善の機会として取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、評価日現在3回実施されています。議題については認知症について 介護認定までの流れについて 利用できるサービスについて 前回実施の火災避難訓練について 次回開催の運営推進会議の要望や取り組みについて
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	「ななかまど便り」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、金銭管理など定期的に家族に報告したり、来訪時にはコミュニケーションを取り意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりに取り組んでいます。また、健康状態や状態変化については都度電話連絡などで報告して不安への対応がされています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホーム主催の「ななかまど祭り」への参加を呼びかけたり、火災時対応に町内会との緊急連絡網の構築を話し合われたり、日頃より地域との連携を意識して取り組まれています。また、町内会に加入して地域の行事へ参加したり、地域住民の通院送迎のボランティアの受け入れや運営推進会議を通じて地域との連携や交流が行われています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして、利用者の尊厳と誇りを大切にすることを職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、ミーティング等で理念を共有して、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。また、来訪者に分かりやすく共有スペースに明示している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホーム主催の「ななかまど祭り」への参加を呼びかけたり、火災時対応に町内会との緊急連絡網の構築を話し合われたり、日頃より地域との連携を意識して取り組まれています。		町内会に加入して、地域の行事へ参加したり、地域住民の通院送迎のボランティアの受け入れや運営推進会議を通じて地域との連携や交流が行われています。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価に取り組む中で、栄養バランスや生活環境の改善など具体的に捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については運営推進会議に報告され、そこでの意見や要望についても改善の機会として取り組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在3回開催されている。メンバーは家族、地域の住民代表、知見を有する有識者、法人代表者及び管理者・職員で構成され、介護認定の流れなど具体的に話し合われ意見交換されている。</p>		<p>今後は、運営推進会議の委員が参加した火災避難訓練や交通事故対策、介護についての具体的事例など講習会を実施していく計画が予定されています。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は、市との連携の重要性について理解してケアサービスの質の向上に取り組んでいる。また、保健所の相談やアドバイスを受けて栄養バランスや摂取カロリーについて具体的に取り組んでいます。</p>		<p>今後は、関係各機関の協力をより一層受けられるように施設内研修をさらに充実させていく計画が検討されています。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「ななかまど便り」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、金銭管理など定期的に家族に報告したり、来訪時にはコミュニケーションを取り意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりに取り組んでいます。</p>		<p>健康状態や状態変化については都度電話連絡などで報告して不安への対応がされています。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族や町内から意見を聞く機会を作ったり、家族が来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組み気軽に意見や苦情・相談、不安なことなどが相談できる環境整備に心掛けそれらを運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職率は低く、利用者の馴染みの管理者や職員が確保されている。また、管理者は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>他グループホームとの交換研修の実施や協議会などの外部研修参加を奨励して参加者の報告会でフォローアップをされたり、管理者や看護師による職場内研修やOJTの実施がされ職員を育てる取り組みがされている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他グループホームとの交換研修やヘルパー実習の受け入れ、グループホーム協議会や包括支援センターとの交流を通じてケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者一人ひとりの過去の大事な出来事や生活歴を把握して、裁縫や編み物、縫い物、大正琴、読書などの趣味への支援や意向や希望に応じて散歩や買物など本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用者一人ひとりの思いや意向を尊重して、散歩や買い物、白鳥見物や公園までのドライブなど外出の機会を多く作ったり縫い物やお手玉作り、読書、歌唱などの趣味への支援など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画はセンター方式を元に作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を反映した具体的な介護計画となっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、計画的に見直しが行われています。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況に応じて、透析などの通院の支援や要望のある場合には散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。また、「ななかまど祭り」などのホーム主催行事への参加や白鳥見物や公園までのドライブなど時々々の要望にも対応されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>利用者をよく知る看護職員の配置やそれぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても医師・歯科医師の往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>医師と連携して利用者・家族とも段階的に相談し合いながら慎重に検討対応するよう職員間で共有される取り組みがされている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応に注意しています。また、記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>個々の利用者のペースや思いを尊重して、入浴などが支援され職員間で共有されている。また、一人ひとりの今の気持ちを尊重して散歩やスーパーや買い物、趣味への支援など本人の希望やペースに沿って支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の嗜好を把握して、職員も利用者と一緒に和気あいあいと楽しんで食事をしている。また、近隣の食事処から出前をとるなど食事が楽しみになるような取り組みがされている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は基本的に決めているが利用者の希望やタイミングに応じて対応している。また、入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式で一人ひとりの生活歴が把握され、畑でトマトや茄子などの野菜の収穫や編み物、お手玉作り、大正琴、歌唱などの趣味への支援や散歩や買い物、気分転換のためのドライブなど外出の機会も多くつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩やスーパーでの買い物、徒歩での通院、白鳥見物や公園までのドライブなど気分転換や心身のリフレッシュができるように積極的に外出ができるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、夜間施錠しているが日中は鍵をかけていない。利用者が外出する時は、職員がさりげなく見守り安全面で配慮されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>ホーム長は、防火管理責任者の資格を持っており、火災避難訓練が年2回実施されています。また、ホットライン・消火設備についても点検が実施され対策されています。</p>		<p>町内会と火災時の緊急連絡網の構築がされ、地域との連携が確保されています。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な水分・食事摂取量が記載され、栄養バランスやカロリーについても保健所の管理栄養士の指導・アドバイスも受けて支援されて市との連携も行われている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>全体的に広い廊下やリビングが確保され、利用者が気になる音の大きさや気になる臭いは感じられない。また、廊下には椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されている。ホームの前庭には、桜の木が植えられるなど季節感が味わえる配慮された工夫がされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、使い慣れた鏡台や家具、テレビなどが持ち込まれ安心して過ごせる場となっていて、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。